

非正規職員を対象とする MeSH 勉強会

－アフター5の1h×3で身につける！ シソーラスの基礎知識－

小嶋 智美 (Kojima, Satomi)

愛知淑徳大学図書館；ヘルスサイエンス情報専門員（中級）

【目的】

2年前から非正規職員を対象に、業務外で MeSH (Medical Subject Headings) の勉強会 (PubMed 検索含む) を実施している。今回の発表により、MIS28 参加の皆様へに現行の内容を吟味していただき、より効果的で充実したカリキュラムの構築を目指す。

【方法】

- 対象：レファレンス部門を委嘱された非正規職員のうち希望者 2～3 名。
- 日時：繁忙期以外の終業後。日程は参加者との調整により決定する。
- 内容：「1. MeSH の基本」「2. MeSH を見る」「3. MeSH を使う」の全 3 回。各回 1 時間、個人ワークを課すため数週間の間隔をあけて実施する。
- その他：雇用契約外の活動であること・職場を会場とすることから、参加者の意思を第一に尊重し、所属長および関係セクション責任者の了承を得て実施する。

【考察】

受講後の参加者には、医学情報に関する外部研修への自主参加、医療・健康系トピックのパスファインダー作成等、自己研鑽・業務ともに前向きな姿勢が見られる。次の派遣先に医学図書館を希望する者もいた。教える側にとっても、自身の知識の再確認、プレゼンテーション能力向上等の利点がある。

各回、身近な題材のもと、対話重視の明るい雰囲気作りを心がけている。その結果、実施前に比べて参加者からの業務上の相談が質・量とも豊かになるなど、親睦を図る場としての効果も実感している。

今後も、要望と実施の環境があれば、継続して実施したい。

今回のポスター作成には「マインドマップ」¹⁾²⁾を用いる。マインドマップとは、情報整理・アイデア創出を目的とするノート術、もしくは能力開発メソッドである。カラフルな色使い、単語を用いた樹形図、イラスト挿入等の特徴を持つ。作成したマップは他者とのコミュニケーションツールとして活用できることから、今回のポスターも、ぜひ皆様との交流に役立てたいと考えている。

〈参考〉

- 1) ブザン教育協会. マインドマップ公式サイト. <http://www.mindmap.or.jp/>, [cited 2011-05-18]
- 2) 平鍋健児. マインドマップによるアイデア発想と整理術. 情報の科学と技術. 2009, Vol.59, No.10, p.498-504.